

2024  
12月号

# 福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合  
〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南1-9-8  
ケイ・アイビル2F  
TEL 092-433-3338  
FAX 092-433-3535  
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

## 米軍オスプレイ福岡空港突如飛来

### 市民の会と平和委員会 福岡市に抗議申入書提出

福岡市は、11月14日に米海軍オスプレイが福岡空港に飛来する報告を事前に防衛省から受けたものの、市民や議会に知らせないで容認したことがあきらかになり、市民の会と福岡市平和委員会は、福岡市に抗議の申し入れをしました。オスプレイは何度も墜落事故を繰り返す「空飛ぶ棺桶」と言われるほどの危険な戦闘機です。事故原因がわからず世界で飛来しているのは日本とアメリカだけです。

### 高島市長は、危険なオスプレイ 飛来に反対すべき

米海軍オスプレイ福岡空港への飛来の報告は、防衛省から福岡市に11月13日に報告されてきました。報告を受け、高島市長は議会と



突如として福岡空港に飛来した CMV 22 オスプレイ

市民に報告しないまま容認しました。

米軍は理由を福岡空港利用の目的として、沖縄など南西地域を中心に行われた、最大規模の日米合同統合実働

### 故障原因が特定できないオスプレイ 日本国内での飛行の中止を

市民の会と福岡市平和委員会は、11月27日と12月4日にそれぞれ福岡市に対し、「福岡空港への米軍オスプレイ飛来についての申し入れ」を行いました。申し入れの内容は、オスプレイの飛来に抗議し、日本国内の飛行中止の働きかけをすることです。

昨年11月に屋久島沖で墜落したオスプレイの墜落原因に関しては、「正確な根本原因が特定することができ

演習「キーン・ソード25」での米国大使館ら視察の送迎としています。目的の訓練は、北朝鮮や中国の脅威に対する「抑止力」としていますが、東シナ海での訓練は国と国との緊張を危険にするだけで、訓練すべきではありません。

市民のいのちと暮らしを守る責任をもつ立場である高島市長がとるべき対応は、米軍オスプレイの福岡空港着陸に反対することです。

### 中国は脅威ではありません

日米合同統合実働演習の理由を中国の脅威に對するとしています。が、日本と中国は、戦後正式に国交を樹立しています。世界の認識としても「中国はひと

つ」として位置づけられており、中台問題は中国の内政問題とされていますので、脅威ではありません。

世論調査によると、今後5年間に中国が台湾を侵攻する可能性について、「低い」「非常に低い」との回答が、6割以上に上ったとロイター通信が報じています。

(編集委員 内田)



パルコ前でオスプレイ反対大運動



市民の会よりオスプレイ飛来に抗議の申し入れ

## 2025春闘討論集会開催 仕事は無期なのに 雇用はなぜ有期



三苫議長の前頭で団結カンパロー

福岡県民春闘共闘連絡会議は、25春闘学習会・総会・討論集会を2024年12月8日(日)第3博多倍成ビルで開催しました。集会には約50名の仲間が

参加しました。午前中は、「非正規4割時代」に労働組合に求められるもの、デューセントワークの実現を地域からと題して、北海学園大学の川村雅則教授がオンラインで講演されました。川村教授は、非正規労働者について「仕事は無期なのに、雇用はなぜ有期なのか」という労働市場の矛盾

盾や、労働市場がどういう状況にあるのかを調べることは大事として、福岡県、北九州市、福岡市、の具体的な数字を表にして説明されました。また、春闘を闘うにあたり、労働組合組織の拡大、質量の強化を常に恒に意識した取り組みを念頭に置きたいと話されました。

**衝撃的なJR高速船の隠蔽問題**

午後からの春闘討論集会では11人から発言

がされ、提案されている重要な最低賃金要求額1500円については、最低生計費調査結果の1700円や、県労連定期大会発言を含め、代表委員会で決定することになりました。平和の問題についても発言がありました。九州運輸局から全国初めて解任命令が出されたJR高速船の犯罪に近い衝撃的な隠蔽問題についても発言がありました。

(編集委員 恵藤)

## 断じて許されません! 違法な佐賀空港隣農地取得



佐賀空港自衛隊駐屯地建設工事差し止め訴訟第4回口頭弁論が、

これまでの地権者の土地取得問題と人格権のほか、取得できるは

人による農地の取得を禁止していますから、漁業協同組合である南川副漁協は農地が取得できなく、国の主張は完全に論理破綻しています。

このように、法律に違反して「取得」した佐賀空港隣の「取得」できない農地を、国は陸上自衛隊のオスプレイ配備駐屯地として、地権者と住民の声を無視して、建設を強行している姿勢は断じて許されることではありません。次回の国側(被告)の反論書面に注目です。

(編集委員 松尾)

12月6日佐賀地方裁判所で行われました。参加者抽選の結果、恵藤副議長と内田事務局長が傍聴することができました。今回の口頭弁論は、農地法は、農業委員会の許可を受けなければならぬこと、「農業生産法人」以外の法

館で開催された第34回人間らしく働くための九州セミナーが、11月16日(土)と17日(日)の2日間開催されました。記念講演は、筑波大学人文社会学系の名誉教授であり、法政大学大原社会問題研究所の研究員をされています。田中洋子さんから、「エッセンシャルワーカーが安心して働ける社会のために」と題して行われました。田中講師は、ドイツに在住して

いたこともあり、日本とドイツの労働時間と正規・非正規の働き方について研究され、「働きやすい」ドイツと、「働きづらい」日本について話されました。日本とドイツの働き方は2000年までは似ていたものの、その後20年間で大きく変わり、法定労働時間は日本が40時間でドイツが48時間とドイツが長いものの、ドイツは法定労働時間の週48時間が遵守義務となりました

が、日本は致命的な抜け穴であり実質「青天井」化である労使間の「36協定」により、法定時間より長い労働時間を容認した結果、日本は労働時間延長に済み、ドイツは労働時間短縮に進んだことが違いになったと話されました。この他に働く時間が選

べることや、有給休暇、処遇格差のない正規・非正規社員、看護師の働き方についても、貴重なことを知ることができました。

(編集委員 恵藤)

## 〈第34回人間らしく働くための九州セミナー〉 ドイツと日本の労働時間の違い



九州セミナー記念講演田中洋子筑波大学名誉教授

### 福岡地区 春闘共闘総会 & 旗開き

- 日時 1月18日(土) 総会17:20~17:50
- 旗開き 受付18:00~
- 会費 5000円
- 開会 18:30
- 閉会 20:30
- 場所 リファレンス博多駅東

#### 今後のスケジュール

- 県春闘・新春宣伝行動
- 1月8日(水) 8:30
- 博多駅筑紫口予定
- 福岡県労連新春旗開き
- 1月9日(木) 18:30
- ウィズザスタイル
- 参加費 7,500円
- 第82回福岡県労連評議員会
- 2月9日(日) 13:00
- 九州ビル